

不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第85回



古室晴哉
不動産学部
3年

不動産学部で学ぶ中で、私は不動

産が「暮らしのすべてとつながる総

合学問」であることに気づき、学べ

ば学ぶほど深みが増していく面白さ

を実感している。入学前

は、不動産といえば建物や

土地を扱う「実務の学問」とい

う漠然としたイメージしかな

かった。しかし、学びを深める

につれ、その背景には法律、経済、

都市計画、建築、防災、そして人々

の生活や心理など、幅広い領域が複

雑に結び付いていることを理解し

た。こうしたつながりを一つひとつ

紐解くたびに、学問の奥行きと魅力

を強く感じる。

特に印象的だったのは、街の景観

や建物の高さ、土地利用の違いには

援する環境が整っていることだ。特

に宅地建物取引士の取得支援は非常

に手厚く、学内には「不動産棟」と

呼ばれる建物があり、「スチューデ

ントルーム」という学生専用の学習

スペースが設けられている。ここは

自習やグループ学習がしやすい静か

な環境で、宅建の勉強をする学生も

多く、自然と勉強の習慣が身に付

く。周囲に同じ目標を持つ仲間が集

まる空間で学べること

で、モチベーションを

不動産学部で広がる視野と未来

資格支援と実務経験がもたらす成長

【教員のコメント】

不動産学部では今年度から「不動

産学部がコミットする100の資格

&技能」という未来を切り拓く新た

な挑戦を開始した。なりたいた自分

を実現したい学生一人ひとりの夢を

を達成するために、宅地建物取引士を始め
多様な資格取得を支援する環境を整
え、全力で応援する。(麻 剣英)